

**未来社会創造事業 探索加速型探索研究**  
**事後評価結果**

1. 領域

「持続可能な社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

労働人口減少を克服する“社会活動寿命”の延伸と人の生産性を高める「知」の拡張の実現

3. 研究開発課題名

「知」の循環と拡張を加速する対話空間のメカニズムデザイン

4. 研究開発代表者名（機関名・役職は評価時点）

谷口 忠大(立命館大学 情報理工学部 教授)

5. 評価結果

本研究開発課題は、本重点公募テーマにおける「知の利活用のための社会基盤の構築」に資する研究開発として、日本社会の中に実装するためのコミュニケーション場のメカニズムデザインの確立を行うことを期待され、採択された。

探索研究においては、コミュニケーション場における6つの重要な設計変数の抽出や、コミュニケーション場のメカニズムデザインの理論化につながる形式モデルを世界で初めて構築するなど、コミュニケーション場の理論化において新しい提案がなされ一定の成果が得られた。コミュニケーション場のメカニズムデザインはその理論化自体が野心的なテーマであり、コミュニケーションの効率化、実質化はデジタル社会における重要な課題となると思われ、今後の研究開発の発展を期待する。

以上